

飛 翔

2023



ミヤ ジマ ケン タ
宮 嶋 健 太 四 段



イソ ヤ ユ イ
磯 谷 祐 維 女 流 初 段

日本将棋連盟
岐阜県支部連合会
2023年第3号

ご挨拶「『飛翔 2023』発行に寄せて」

日本将棋連盟 岐阜県支部連合会

副会長 細谷純一



2023年5月、2年以上続いたコロナ禍はようやく落ち着きを取り戻しました。本連合会は県代表戦を含む大会をすべて開催することができ、棋友に喜ばれる年になりました。

一方、将棋界では藤井聡太さんが王座戦第4局で永瀬拓矢さんに勝ち、八冠を獲得しました。21歳で大変な快挙を成し遂げ、このことはマスコミに大いに取り上げられました。この影響で将棋ファンを増やすことになり、流行語にもなった「見る将」は特に顕著です。藤井八冠がどこまで活躍するか目が離せません。

そして今年は2人のプロ棋士が岐阜県から誕生しました。宮嶋健太さんと磯谷祐維さんです。宮嶋さんは真面目にコツコツ勉強するタイプ、磯谷さんは熱血タイプで、将来が非常に楽しみです。これで10年以上岐阜県に籍を置いている棋士は全部で6名になります。この人数は都道府県の人口比率で計算すると全国ではトップクラスになり、岐阜県は東京都と肩を並べています。正に将棋王国にふさわしい県になりました。

本連合会はこの勢いのもと、大会運営、普及に力を入れて参ります。よろしくお願ひします。

岐阜県支部代表者一覧表

中濃支部	支部長	細谷純一	〒501-3821	岐阜県関市平賀町 8-1	アンビエンテひらが 703	090-7439-2735
岐阜棋友会支部	支部長	冨田國夫	〒503-0023	岐阜県大垣市笠木町 563-6		0584-92-1312
岐阜将棋愛好会支部	支部長	速水基希				090-2572-3798
岐阜県中央支部	支部長	柴山芳之	〒504-0833	岐阜県各務原市入会町 4-6-2		058-383-6921
高山将棋教室支部	支部長	浅井泉	〒506-0012	岐阜県高山市八軒町 2-64		0577-32-0450
岐阜棋友会西濃支部	代表者	笹井義隆	〒503-2416	岐阜県揖斐郡池田町萩原 942-1		0585-45-1939
可児支部	支部長	後藤和政	〒505-0046	美濃加茂市西町 5-77		090-4111-7836
大垣支部	支部長	加藤肇	〒503-0015	岐阜県大垣市林町 5-18	光和ビル 6階	西濃特許事務所内 0584-84-4362
西濃ジュニア支部	支部長	林晃弘	〒503-2327	岐阜県安八郡神戸町和泉 802		0584-27-4091

棋士紹介

四段 宮嶋健太

生年月日 1999年8月13日

出身地 岐阜県岐阜市

棋士番号 339

師匠 大野八一雄七段

経歴 6歳の時に祖父に将棋を教わる。

2011年 第36回小学生将棋名人戦優勝。相手は岡部怜央。

同年 奨励会に再入会。

2019年後期 三段リーグに参加。

2023年前期 8期目で15勝3敗の成績を収める。

同年10/1付け 四段昇段。

得意戦法 相掛かり

趣味 友人とパフェを食べること。



女流1級 岩佐美帆子

生年月日 2005年8月15日

出身地 岐阜県岐阜市

女流棋士番号 76

師匠 豊島将之九段

経歴 小学4年生の時に2人の兄の影響を受けてルールを覚える。

2016年 第10回小学生女子将棋名人戦3位。

2019年 第11回中学生女子将棋名人戦、準優勝。

2020年 第36回関西アマチュア女流将棋名人戦3位。

2022年2/1付け 女流2級昇級。

2023年4/1付け 女流1級昇級。

得意戦法 角換わり戦法

趣味 音楽鑑賞と読書



女流初段 磯谷祐維

生年月日 2003年1月15日

出身地 岐阜県各務原市

LPSA番号 23

師匠 山崎隆之八段

経歴 小学3年生の時に祖父に教わる。

2015年 第7回中学生女子将棋名人戦全国大会優勝。

2019年 第12回女子アマ王位戦優勝（2年連続）。

2023年 第44回全国アマ将棋レーティング選手権3位。

2023年9/1付け 日本女子プロ将棋協会（LPSA）女流2級昇級。

2024年1/3付け 第8回YAMADA女流チャレンジ杯優勝。

女流初段昇段。

得意戦法 右玉戦法

趣味 将棋



令和5年度岐阜県支部連合会の大会・イベント

公文杯第48回小学生将棋名人戦岐阜県大会

2月19日(日)

小学生将棋名人戦は、小学生将棋の最高位を決定する大会です。過去には羽生善治九段、渡辺明九段、そして岐阜県代表であった宮嶋健太四段も全国大会で優勝しています。並行して中日小学生将棋大会も行われました。岐阜県代表になったのは櫻木寿賢君(3年)、高学年戦は古川虎日翔君、低学年戦は加藤夢人君が優勝しました。当日、ゲストとして小林健二九段には挨拶、指導対局をして頂きました。

写真は対局風景で、真剣そのものです。



第30回全国シニア将棋名人戦岐阜県大会

2月19日(日)

60歳以上のベテランに参加資格がある将棋大会です。ベテランらしい渋い指し手の応酬で味のある対局がみられました。コロナウイルスの影響がまだ残り、参加者数が以前より少ないのは少し寂しいですが仕方ありません。代表になられたのは中島良一さんでした。

写真はその対局風景です。



第52回全国支部対抗戦・支部名人戦岐阜県大会

3月5日(日)

支部対抗戦は1チーム3名(三段以下)によるもので、9支部が県代表を争いました。また、支部名人戦は段位制限のない支部会員最強者を決める大会です。支部対抗戦の優勝チームは岐阜棋友会支部(大野真弥・林喜行・加藤慎士)。支部名人戦優勝者は宮堂力旗さんでした。

写真は支部対抗戦の対局風景です。



第14回岐阜市長杯将棋争奪戦

3月19日(日)

本戦は、支部会員及び年齢、または住所等の制限がない大会です。参加者は愛知県や京都市からもあり、5クラス85名でした。優勝者はS級堀田暁之さん、A級は首藤大地さんでした。

写真の奥の窓側の列は小学生低学年の部、手前の列は小学生高学年の部の対局の様です。皆さん真剣そのものです。



第36回アマチュア竜王戦岐阜県大会

4月2日(日)

アマチュア竜王戦全国大会は成績優秀であれば、プロ竜王戦への出場権を得られる特典のある大会です。県代表戦の参加資格は岐阜県内在住者です。また、どなたでも参加できる第28回読売新聞杯争奪将棋大会には 神奈川県・奈良県・静岡県などの遠方からの参加もありました。岐阜県代表になったのは藤井賢さん、A級優勝者は土谷正登さんでした。

写真は竜王戦の対局風景です。



第22回全国小学生倉敷王将戦岐阜県大会

4月16日(日)

今年の小学生倉敷王将戦は、大山康晴15世名人生誕100年を迎え、それを記念する大会でもあります。高学年の部の優勝者は櫻木寿賢君(4年)、低学年の部の優勝者は片桐周弥君(3年)でした。全国大会は倉敷市芸文館で行われました。

写真は高学年の部の対局風景です。



第44回全国中学生選抜将棋選手権岐阜県大会

4月16日(日)

この大会は、プロ棋士への登竜門として注目を集めています。全国大会は将棋駒の産地で有名な天童市で開催されます。

特徴として、男子個人戦と女子個人戦は分けて開催されていることです。参加者数は男女合わせて30名でした。男子優勝者は伊藤雅陽君(1年)・女子優勝者は安田結友(1年)でした。全国大会では二人とも決勝トーナメントに進出しました。

写真は岐阜県大会の男子個人戦の様子です。実力者揃いが熱い戦いを繰り広げました。



はじめの一步将棋まつり

5月7日(日)

藤井ブームでフィーバーしている中、岐阜シティー・タワー43で将棋の企画として自由対局と指導対局を行いました。お手伝いに鶯谷高校の将棋部員の生徒の方と岐阜県支部連合会からは指導員4名が参加しました。

写真はでのアトリウム(1階広場)での指導風景です。



第59回全国高等学校将棋選手権大会岐阜県大会

5月14日(日)

この大会は、男子団体戦・女子団体戦・男子個人戦及び女子個人戦に分かれて開催されました。参加者数は110名超で予選リーグから熱戦続きでした。結果、男子個人戦優勝は紀平倅佑君でした。男子団体戦は鶯谷高校(宮堂孔暉・櫻井皓太・松久奏)で全国大会は準優勝、女子団体戦は鶯谷高校(伊藤伊織・役初佳・大西徳美)で全国大会3位、女子個人戦は川田理乃さんが全国大会ベスト16に進出するなど素晴らしい結果を残しました。

写真は岐阜県大会の男子個人戦の対局風景です。皆さん、盤上没我のすばらしい対局姿勢です。



第19回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦

5月28日(日)

この大会は、同一学校の生徒で3名一組(学年不問)のチームを作ることが条件で、小学校の部・中学校の部に分けて開催しました。小学校の部は9チーム27名、中学校の部は8チーム24名の参加でした。中学校の部の優勝は神戸町立神戸中学校(篠田怜桜・栗野心響・中原蒼明)、小学校の部の優勝は大垣市立江東小学校(加藤匠真・直井碧槻・進藤勇翔)でした。中学校の部では全勝チームが無く接戦でした。

写真は小学校の部の対局風景です。



ねりんピック愛顔のえひめ2023

5月28日(日)

この大会は、岐阜県在住で60歳以上ならどなたでも参加資格があり、上位3名が全国大会出場できるものです。今回は6名参加で少し寂しかったが、盤上では熱い戦いを繰り広げました。優勝は白井精一さん、準優勝は杉崎正治さん、3位は古川広文さんでした。全国大会では杉崎さんが参加者の中では2番目に高齢の89歳で表彰されました。若い者にはまだまだ負けられません。

写真は出場者3名の表彰風景です。



第77回全日本アマチュア将棋名人戦岐阜県大会

6月11日(日)

この大会は、アマチュア将棋大会の中で最も歴史があります。また、アマチュア将棋名人戦と並行して第28回中日将棋大会も開催し、A級・B級・小学高学年・小学低学年のクラスに分けて行いました。名人戦には岐阜県内から25名の強豪が揃い、優勝したのは宮堂力旗さんでした。又、A級優勝者は林孝之さんでした。

写真はアマチュア将棋名人戦の対局風景です。



第36回全国高等学校将棋竜王戦岐阜県大会

7月2日(日)

この大会は、男女のクラス分けは無く、対局を行い予選リーグで2勝した者が決勝トーナメントへ進出できます。参加者は男子56名・女子9名でした。そのうち女子4人が本選でベスト16まで進出し大健闘でした。優勝は櫻井皓太君(鶯谷高校2年)・準優勝は板津瑛士君(関高校3年)・3位は松久湊君(鶯谷高校1年)でした。

写真は予選リーグの対局風景です。



令和5年度第1回定期順位戦

7月30日(日)

定期順位戦は岐阜県独自の大会で、通常の5クラスの他に初心者のためのC級もあります。参加資格の規定は無くだれでも参加できます。今回、参加者数は82名で石川県からの参加もありました。特典は勝数に応じてポイントが付き、一定のポイントを獲得すれば図書カードをもらえることです。優勝者はS級細谷純一さん、A級は佐橋暁登さんでした。

写真は手前がB級戦、奥の方がC級戦です。皆さん真剣に手を読み耽っています。



第30回全国高等専門学校将棋大会

8月23日(水)～25日(金)

この大会は全国の高等専門学校からえりすぐりの選手が参加しています。場所は岐阜十六プラザで三日に分けて行われました。又、審判員として県連から5名がお手伝いに加わりました。全国優勝に輝いたのは団体戦は群馬工業高等専門学校、個人戦は土山泰輝君(津山工業高等専門学校)、女子個人戦は齋藤くららさん(函館工業高等専門学校)でした。おめでとうございます。

写真は対局風景。真剣そのものです。



令和5年度第2回定期順位戦

8月27日(日)

定期順位戦は大会参加者及び大会に参加しない方にも、日本将棋連盟公認の将棋指導員により指導を受けることができます。

今大会の優勝はS級が前田和太郎君(桑名市の小学4年生)、A級は安田清流君(小学2年)でした。ここでも若手たちが順調に力を付けてきています。

写真は5名の将棋指導員による指導対局風景です。一般の方も気軽に楽しんで頂けたらと思います。



令和5年度第3回定期順位戦

9月17日(日)

定期順位戦も3回目になりますと、一定のポイントに達した選手たちが図書カードを獲得していました。優勝したのはS級は戸田博士さん、準優勝は安田清流君(小学2年生)でした。A級は櫻木寿賢君(小学3年生)、準優勝は片桐周弥君(小学3年生)でした。大人に混じって小学生大活躍です!

写真は手前の列が小学高学年の部、奥の列がB級戦、その後方がC級戦です。



ぎふしん杯第3回こども将棋岐王戦

10月1日(日)

岐阜新聞社・岐阜放送主催で岐阜信用金庫に特別協賛して頂いている大会です。午前は岐王戦のトーナメント戦及び低学年大会があり、午後からは岐王戦は場所を変えて茶室付の和室でベスト4から再開し、高学年大会は午前の低学年の場所に入れ替わりで開始されました。この日は大阪府、京都府、富山県、静岡県など遠方から多くの参加者がありました。優勝に輝いたのは岐王戦では石橋希望君、小学高学年戦は加藤大智君、小学低学年戦は片桐周弥君でした。

写真には高田四段が子供達の将棋を熱心に観戦されている様子が写っています。



2023 笠松けいば秋まつり

10月14日(土)

このイベントは笠松競馬様と競馬の趣味を持つ渡辺明九段とのコラボ企画です。お手伝いに県連からは2名の役員が同行しました。お会いして、渡辺明九段の将棋普及に対する熱い想い、そして心配りには県連役員は感銘を受けました。

写真は笠松けいば秋祭りのチラシの一部です。



岐阜県将棋フェスティバル大会2023

10月22日(日)

この大会は、第1回から第3回までの定期順位戦で一定以上の成績を取った人が参加できます。また、成績を修めていない人や飛び入りでも参加できる一般戦も設けています。フェスティバル大会は優勝したのはS級が石原暁秀さん、A級は田中祐聖さんでした。また、将棋指導員による指導対局も行われました。

写真は阪口悟六段による指導対局風景。阪口先生は一人ひとりに丁寧な指導を行い、修了証には適切なアドバイスを記入して頂きました。指導を受けた方には大変好評でした。



宮嶋健太新四段を励ます会

12月3日(日)

2023年10月1日付で四段になった「宮嶋健太新四段を励ます会」を日本将棋連盟岐阜県支部連合会有志の会の方々により開催いたしました。会場である岐阜キャッスルインには50名がお祝いに来られました。師匠である大野八一雄先生からは宮嶋四段の入門までの経緯、彼のお父上との関係など興味深い話をして頂きました。この後、宮嶋四段から今後の決意を述べて頂きました。この後行われた公式デビュー戦には宮嶋四段は見事な勝利を納めました。



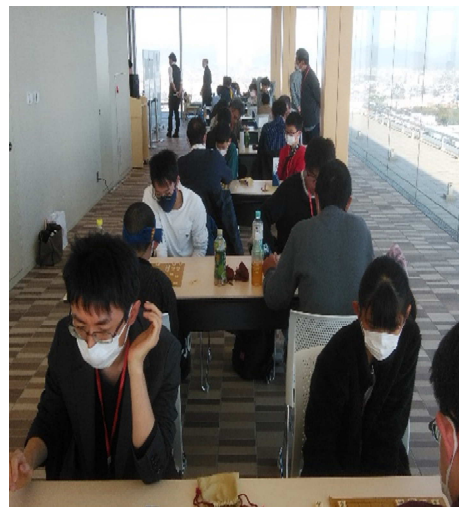
清流の国 ぎふ将棋フェスタ 天空の指導対局 in ぎふ

12月9日(土)

この大会は、岐阜県支部連合会の相談役であります長屋光征県議会議員のご尽力より本年度より開催されました。

新築された岐阜県庁の20階清流ロビーでは午前10時から32名参加による清流ミナモ戦を皮切りに、森内俊之九段による多面指導対局、8名の棋士によるぐるぐる将棋大会が順次行われました。午後3時から1階のミナモホールに会場を移し、森内九段、井上慶太九段等によるトークショーが行われ、その後、高田明浩四段対宮嶋健太四段による公開対局も行われました。盛りだくさんの内容に参加者は将棋を楽しんでいただきました。

写真は清流ミナモ戦の対局風景です。素晴らしい眺めですので、ぜひ訪れて下さい。



【将棋フェスティバル2023 決勝戦】

岐阜県将棋フェスティバル2023(日本将棋連盟岐阜県支部連合会主催)からチャンピオン戦決勝戦を紹介し
ます。定期順位戦(第1~3回)のポイント獲得上位者が参加できます。S級決勝は先手石原暁秀さん、後手伊藤
雅陽さんの対戦で行われました。

選手の紹介。石原さんは大垣市在住でイビデン(株)に勤務。会社内では将棋部を立ち上げ、部長として活躍
しています。伊藤さんは小学3年生の時、JT杯北信越大会で優勝。現在、青山中学校の1年生ながら強豪のひと
りです。新旧対抗で面白い将棋になりそうです。

持ち時間は20分。使い切ると30秒の秒読み付きで、両者の決勝戦は始まりました。

＜将棋フェスティバル2023 S級決勝戦＞ (2023.10.22)

(先)石原暁秀(3勝0敗) VS (後)伊藤雅陽(3勝0敗)

▲7六歩	△3四歩	▲8六歩	△7二銀	▲1七香	△1四歩	▲2五桂	△同桂	▲3三馬	△6二飛
▲4八銀	△9四歩	▲8七玉	△1二香	▲4九飛	△8三銀	▲同歩	△3五角	▲同金④	△同金
▲9六歩	△4四歩	▲7八銀	△5二金左	▲3五歩②	△同歩	▲同飛	△同歩	▲3二飛	△7二金打
▲4六歩	△4二飛①	▲9八玉	△6四歩	▲3九飛	△7二金	▲5一角	△5二飛	▲5五馬	△8五歩
▲4七銀	△3三角	▲8七銀	△5四銀	▲3五飛	△4三金	▲3三角引成	△同金	▲同歩	△9五香
▲5六銀	△3二銀	▲7八金	△6三銀引	▲3七桂	△3四歩	▲同角成	△4九飛	▲9六歩	△8六歩
▲6八玉	△6二玉	▲3六歩	△5四歩	▲3六飛	△2四角	▲4三金	△6二飛	▲同銀	△9六香
▲4八飛	△4三銀	▲1六歩	△7四歩	▲4五歩	△9二香	▲5一馬	△9五歩	▲9七歩	△9四桂
▲7八玉	△7二玉	▲6八金右	△7三桂	▲3二歩③	△3三桂	▲同歩	△5五歩	▲7七馬	△8六桂
▲5八金右	△8二玉	▲2六歩	△8四歩	▲3一歩成	△4五歩	▲5三金	△2二飛	▲同馬	△9四銀

▲9六歩	△8五銀	▲7三桂打	△7二玉
▲8三歩	△7一玉⑤	▲8一銀不成	△7一玉
▲8五馬	△同桂	▲6三桂不成	△8二玉
▲8二銀	△6一玉	▲6二飛成⑦	
▲7三香	△9七歩		
▲同桂	△8九角		
▲8八玉⑥	△7三金直		
▲8五桂	△8四香		
▲7七桂	△4四角	127手で	
▲5五桂	△8三金	先手の勝ち	



左 伊藤雅陽さん

右 石原暁秀さん

①先手居飛車、後手四間飛車で開幕。

②8三銀で、6一金が浮いたのを好機とみた仕掛け。

③先の9二香の手渡しを咎める一手。

④5一馬の千日手は筋は選ばない。石原さんは、形勢に自信をもっているようだ。

⑤9三玉もあったか。本譜より怖いが...

⑥7八角成一同金-7七金から先手玉に詰みがあった。よって、8八玉に代って、8七玉はどうかという話になるが、7八角成一同金に、8九飛車成り-8八角-8六歩から詰みがある。2手前の同桂に代って、8七玉で8九飛車成りに8八桂なら詰みは無いが、先手がじり貧か。本譜の方が実戦的かもしれない。

⑦先手6二飛車成りをみて、伊藤さん投了。敗着は、7八角成りからの詰みを見逃したところか。惜しかった。

最後までどうなるかわからない熱戦でした。石原暁秀さん、優勝おめでとうございます。

石原暁秀さんの感想: 学生の活躍が目立つ中、念願の初優勝ができました。嬉しいの一言です。今後は、将棋普及にも力を入れ、若手育成をはかります。将棋にご恩返しができたらと考えています。